

2020年3月版

塗膜防水のノウハウと建築用下地調整塗材を活かした外壁改修工法です。柔軟性のある外壁用塗膜防水材料の仕上塗料を組み合わせ、工程数を減らしたリーズナブルな工法です。外壁用塗膜防水工法と同様な仕上りとなり、同じ建物で使い分けが可能です。

## 特長

### 1 工期短縮

従来の改装工法で必要とされる三工程(フィラー、シーラー、中塗り)を一つの材料で簡素化しました。

### 2 追従性

適度な微弾性を有しているため、旧塗膜に発生した微細なひび割れに追従します。

### 3 適用下地

既存塗膜(リシン、吹付タイル、弾性タイル、単層弾性など)に対する付着性が良好です。また、コンクリート、モルタル、ALCパネル(アロンカチオクリート併用)にも適用できます

### 4 テクスチャー

リップル状仕上げ**RT工法**、もしくは、既存塗膜(リシンや吹付タイル)の模様を活かした仕上げ**ET工法**を選択することができます。

### 5 環境対応

アロンELフィラーは、水性の1液タイプの材料であるため、作業性に優れ、取扱いや保管が簡単で安全です。





